

なにがあるろうと
オレたちは存在する
これから

68.
Internationale
Filmfestspiele
Berlin

第68回

ベルリン国際映画祭
銀熊賞受賞 (芸術貢献賞)

ベルリーナー・モルゲンポスト紙読者賞受賞

アレクセイ・ゲルマン・ジュニア 監督作品

ドヴラトフ

レニングラードの作家たち

監督:アレクセイ・ゲルマン・ジュニア 撮影:ウカシュ・ジャル

出演:ミラン・マリッチ、ダニエラ・コスロフスキー、スヴェトラナ・ホドチェンコワ、エレナ・リャドワ

提供:太秦、アイ・ヴィー・シー 配給:太秦 宣伝協力:スリーピン 字幕:守屋愛 監修:沼野充義

2018年|HD|シネマスコープ|5.1ch|126分|ロシア

©2018 SAGA/ Channel One Russia/ Message Film/ Eurimages

「雪解け」の香りを残す1970年代初頭のレニングラード。
自分を信じ、ありのままに生きようとした芸術家たちの6日間の物語。

MILAN MARIC, DANILA KOZLOVSKY, ELENA LYADOVA, ARTIUR BESHCHASTNY, ELENA LYADOVA. A FILM BY ALEXEY GERMAN JR. SAGA FILM COMPANY AND METRAFILMS IN ASSOCIATION WITH CHANNEL ONE RUSSIA WITH PARTICIPATION OF LENFILM FILM STUDIO, IN CO-PRODUCTION WITH MESSAGE FILM (POLAND) AND AFI & POPCORN (SERBIA)
Supported by MINISTRY OF CULTURE, POLISH FILM FEDERATION, RUSSIAN CINEMA FUND, GOVERNMENT OF SAINT-PETERSBURG, POLISH FILM INSTITUTE, FILM CENTER SERBIA AND CULTURAL ASSOCIATION OF THE COUNCIL OF EUROPE. EURIMAGES, MILAN MARIC, DANILA KOZLOVSKY, ELENA LYADOVA, SVETLANA KHODCHENKOVA, ANTON SHAGIN, ARTIUR BESHCHASTNY, PIOTR CASANSKI
CO-PRODUCED BY MAXIM LUBARSKY, GUYAN ALBERT, EDUARD KUCHEN. DIRECTED BY PRODUCTION DESIGNER ELENA DOKUPALVA. SCREENPLAY BY ALEXEY GERMAN JR., YULIA TURPKINA. PRODUCERS POLAND: DARIUSZ JABLONSKI, IZABELA WOLCZK, VIOLETA KAMINSKA. PRODUCED BY MIROSLAV MICHOVICHI
PRODUCTION: ANDREY SOLOVYEV, ARTIUR BESHCHASTNY, PRODUCTION DESIGNER ELENA DOKUPALVA. WORLD SALES: ALPHA VIDEO. DIRECTED BY ALEXEY GERMAN JR. SAGA FILM COMPANY AND METRAFILMS IN ASSOCIATION WITH CHANNEL ONE RUSSIA WITH PARTICIPATION OF LENFILM FILM STUDIO, IN CO-PRODUCTION WITH MESSAGE FILM (POLAND) AND AFI & POPCORN (SERBIA)

ドヴラートフ
それは私であり、
あなたである
沼野充義 (ロシア文学者・東京大学教授)

プーシキン、ドストエフスキー、チャーホフに続く現代ロシアの伝説的作家であるドヴラートフ
その知られざる激動の人生、希望と共に生きた6日間を切り取る

20世紀で最も輝かしいロシア人作家の一人、セルゲイ・ドヴラートフの激動の半生を、『神々のたそがれ』のアレクセイ・ゲルマンを父に持つ、アレクセイ・ゲルマン・ジュニアが描く。第二次世界大戦から約25年後の1971年のレニングラード(現サンクトペテルブルク)にカメラを据え、ジャーナリストとして働きながら文筆活動にいそしんだ日々から切り取られた、ロシア革命記念日である11月7日の前日までの6日間に迫る。「雪解け」と呼ばれ言論に自由の風が吹いた社会に再び抑圧的な「凍てつき」の空気が満ち始めた時代。のちにノーベル賞を受賞する詩人ヨシフ・ブロッキーらも含め若き芸術家や活動家たちのひたむきな生が描かれる。ヘミングウェイなどアメリカ文学の影響を受け、飄々としたユーモア感覚でロシア文学史においてユニークな存在となったドヴラートフ。仲間と共に苦難をやり過ごし、孤独に葛藤し、自分の人生を生き抜こうとした姿は、私たちの現在と未来に強く訴えかけるだろう。

2018年ベルリン国際映画祭ワールドプレミアに正式出品され、芸術貢献賞で銀熊賞を、ベルリナー・モルゲンポスト紙読者賞を受賞。劇中では街並みやインテリア、ファッションから小物に至るまで徹底した再現でブレジネフ時代の光と闇をリアルに描き出している。国内外でも話題となり英語圏とスカンジナビアでの配給権を、Netflixが獲得した。ドヴラートフ役はセルビア人俳優ミラン・マリッチ。不当な弾圧による悲しみを繊細に演じ切り、スクリーン誌に「彼はドヴラートフそのものである」と言わしめた。脇を固める俳優陣には『ヴァンパイア・アカデミー』、『マチルダ 禁断の恋』のダニエラ・コズロフスキー、『裏切りのサーカス』、『ウルヴァリン: SAMURAI』のズヴェトラナ・ホドチェンコワ、『裁かれるは善人のみ』のエレナ・リャドワなどロシア国内外で活躍する実力派が華を添え、撮影は『ゴッホ〜最期の手紙〜』や、『イーダ』でアカデミー賞撮影賞にノミネートされたウカシユ・ジャルが担当。

厳しい環境下であえぎつつも、精彩を放ち続けた作家・ドヴラートフの人生における6日間を追った

ソビエトで活動するロシア人作家ドヴラートフは、友人であった詩人ブロッキーとともに、自分たちの才能を誇り、世間に発表する機会を得るために闘うが、政府からの抑圧によりその才能をつぶされていく。彼らはすべてをかなぐり捨て、移民としてニューヨークへと亡命する。厳しい環境下であえぎつつも、精彩を放ち続けたドヴラートフの人生における郷愁と希望の狭間で格闘した究極の6日間を追った。

監督:アレクセイ・ゲルマン・ジュニア 撮影:ウカシユ・ジャル 美術・衣装:エレナ・オコブナヤ 出演:ミラン・マリッチ、ダニエラ・コズロフスキー、ズヴェトラナ・ホドチェンコワ、エレナ・リャドワ
提供:太秦、アイ・ヴィー・シー 配給:太秦 宣伝協力:スリーピン 字幕:守屋愛 監修:沼野充義 2018年|HD|シネマスコープ5.1ch|126分|ロシア ©2018 SAGA/ Channel One Russia/ Message Film/ Eurimages



旧友の女優



文芸雑誌の編集者

作品を
売り込む



セルゲイ・ドヴラートフ*

作家。厳しい統制のもと自分の作品を世に出せないでいる。愛称はセリョージャ。



元妻 エレーナ

娘・カーチャと共に暮らす



娘
カーチャ

友人



閣屋のダヴィット

画家であるが関取引きに手を出す。ドヴラートフを誘うが...



詩人のブロッキー

のちにノーベル文学賞受賞



労働者のアントン

詩人だがジャンル建設現場で働く日々

★セルゲイ・ドヴラートフ(1941年9月3日-1990年8月24日)

ソビエト・アメリカの作家。反体制的作家とされ、地下出版で作品を発表した。1978年アメリカに亡命後、作品は評判となり死後はロシアで最も読まれている人気作家となる。



4/25(土)より全国順次公開

全国共通特別鑑賞券¥1,500(税込)絶賛発売中! (当日一般1,800円(税込)の処)
お買い求めの方に「オリジナルポストカード」をプレゼント(数量限定)

渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
03(3461)0211 eurospace.co.jp

